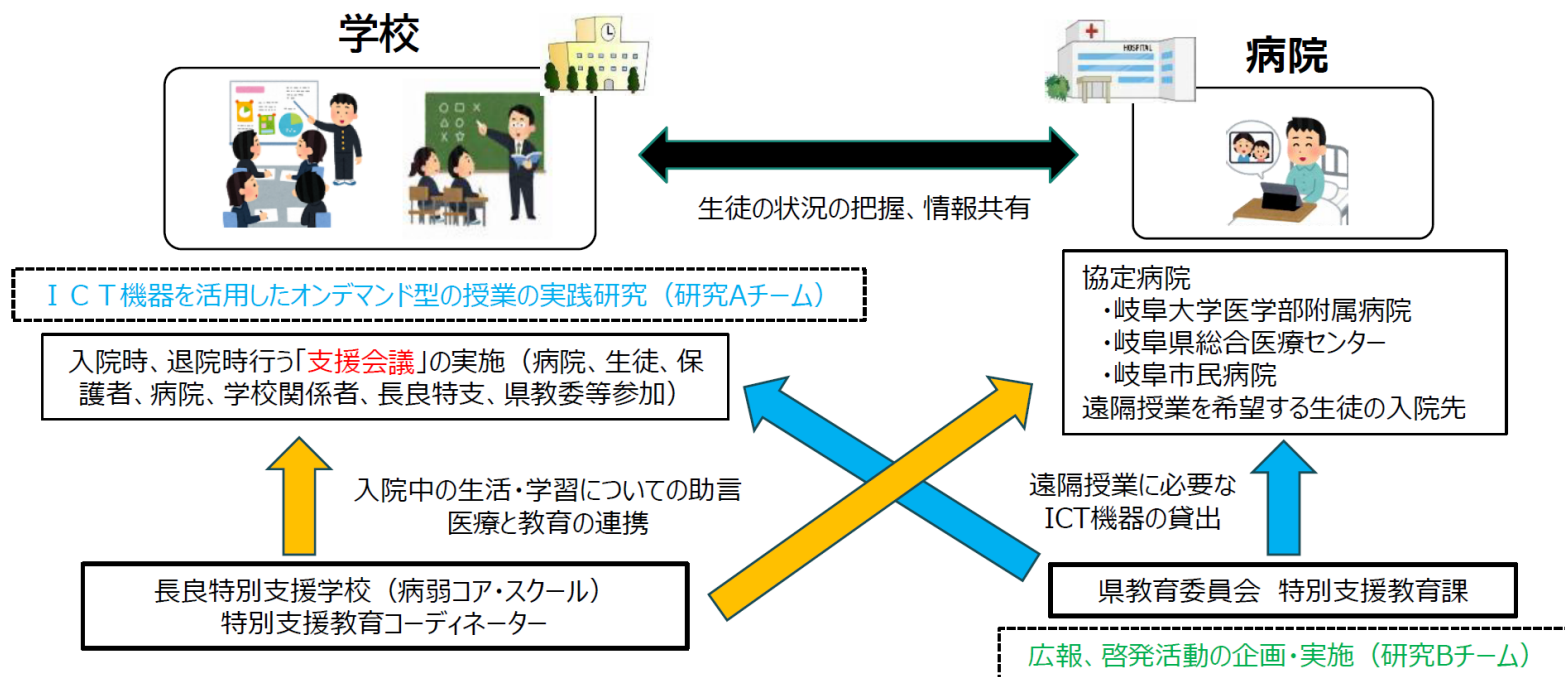


令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業) 事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

1. 背景・目的

病気療養中等の生徒が、**安心して学ぶことができる環境を整備**する。オンラインに加え、ICT 機器を活用した効果的な**オンデマンド型の授業の実施方法**について検討する。また、医療機関や学校に向けた研修会、ガイドブックによる**広報活動**を行い、病気療養中等生徒の学習保障の必要性を県全体に発信する。

2. 実施体制



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

3. 実施内容

ICT機器を活用したオンデマンド型の授業の実践研究(研究チームA)

○機器整備

配信のしやすさ → キャスター付き三脚、モバイルバッテリー
オンライン授業の録画

○平易な録画・視聴方法の提示

○聞こえやすさへの配慮 → 教師用ピンマイク
※授業の臨場感を大切に



○身に付けさせたい資質・能力への対応

【例】

・思考力・判断力・表現力：他の生徒の意見を参考に**自分の考えを深める**

→ **集音マイク**の活用

(グループワークで生徒の声を聞きやすくする)

・知識・技能：**道具の扱い方、手順、留意点をまとめる**

→ **ウェアラブルカメラ**の活用

※復学後に実技や実習を行う



ウェアラブルカメラの教員目線

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

3. 実施内容

「入院生徒の学習保障に関する研修会・広報活動」(研究チームB)

①研修会の実施

実施：令和6年1月25日

参加：140名（オンライン含む）

高校の特別支援教育コーディネーター・養護教諭、
小中学校・特別支援学校の教員、医療機関

内容（講演、パネルディスカッション）

テーマ「**白血病高校生 院内学習の実態**」

講師 遠隔教育を実施した生徒の保護者

パネラー 岐阜市民病院 小児科医

特別支援学校 教諭（特支コーディネーター）

感想

- ・保護者の立場からの話を聞いたことは、貴重な機会。
- ・「治療に専念するだけでなく、学校に戻るという目標を持たせながら勉強をしていくことが大切だ」という医師の言葉が印象的。
- ・学びたい気持ちが生きる力にもなる。

②リーフレットの発行

「**岐阜県における
入院高校生の学習保障**」

発行 令和6年2月

内容 ・入院高校生の学習保障
内容の説明
・実施生徒体験談



③ガイドブックの発行

「**病気療養中の生徒への支援
ガイドブック**」

発行 令和7年3月

内容 ・効果的なオンデマンド型
授業の方法
・入院支援の事例



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

4. 成果・課題

○取組の成果・効果

- ・学習評価：オンデマンド型授業でも、資質・能力の3つの柱で測ることが可能
→ **ICT機器・学習支援アプリの活用** ※「技能」は復学後に実施
- ・病院との連携：病院側と学校側の復学に向けた**共通認識**
(病院…単位取得や卒業への理解 学校…教育が治療へ励みとなる)
→ **入院時の支援会議の充実**につながった

【今後の取組】

○遠隔授業の方向性・展望

- ・本事業の周知：**関係する担当者への説明**（教務主任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター）
※病気療養中の生徒の学習に関する校内規定の整備含む
教育委員会関係課との連携した周知の継続（例）AYA WEEK
- ・ICT機器の活用により、すべての生徒にとって繰り返し学習が可能
→ **日頃の授業の延長線上にオンデマンド型授業があるように**

本事業は、文部科学省の委託を受け、実施したものです。

報告書の詳細は、下記URLからご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006/r06/1422284_00002.htm

